**相談受付票**平成　30年　６月　６日

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| Tちゃん  生年月日　　H２6年　４月　３日　　　（　４歳　）  診 断 名　　自閉症スペクトラム | | | | | 相談者氏名　　○○　K子  本人との関係　母 | |
| 連絡先 | |
| 住所  　　　○○市○○町  (連絡先　自宅)　　　　　（父・母・携帯） | | | | | 相談形態　□電話　　■来所　　□訪問 | |
| 保育園・幼稚園・学校名 | |
| 手帳　・有 | 身体障害者手帳　　級 | 療育手帳Ａ1・Ａ２・Ｂ１・Ｂ２ | | | | 精神障害者手帳　　　級 |
| 医療・関係機関　　　　　Mクリニック | | | | | | |
| **《生育歴》**  運動発達面で遅れはなかったが、発語が遅く（２歳）、夜泣きもひどくとても育てにくい子どもだった。ハイハイし始めると落ち着きなくいつも動き回って、目がはなせなかった。動きを止めたり、「ダメ」と叱るとかんしゃくを起こし暴れたり、頭を叩いたり、床に頭を打ち付けるなど、自傷行為もひどかった。音に関して過敏で、ザワザワしている場所では落ち着かないので、外出もできない状況が続いていた。食事の面でも偏食が多く、白米を好んで食べていた（手づかみ）健診で発達の偏りを指摘され、３歳前に受診し診断を受け、療育機関を勧められたが、母子分離不安が高く、家で母と過ごしていた。しかし、母の妊娠と鬱状態が続いたために、無認可保育園に通う事になった。半年たった今、不安が高くなかなか慣れないが、加配の先生と一緒だと少しずつ集団に入れるようになってきた。母親も少しずつ安定している。 | | | | | | |
| **《家族構成》**  　　　　 ７才　　　 ４才　　　　 １才  　　　小学1年生　　保育園 | | | **《家族の状況》**  ・主養育者：母親（専業主婦）　・他の養育者：父親（土日休み）  主に母親が面倒を見ている。母親は熱心で、子どもの障がいを受け入れよううと一生懸命関わっているが、子どもに振り回され鬱気味。  父親も子どものことを気にかけてはいるが、仕事が忙しく、なかなか子育てに参加できていない。（休みの日は自分の趣味のバイクいじりをして過ごすことが多い）兄弟げんかも多く、最後はお兄ちゃんを叱りつけてしまう。 | | | |
| **《ＡＤＬの状況》**  身辺自立は声かけと、少しの介助が必要。日常生活に必要な簡単な言葉のやり取りはできている。しかし、気になるものが周りにあったり、興奮している状況では、言葉のやり取りは難しい。夜泣きもひどい。（特にお兄ちゃんとけんかした日はひどい）また、弟が泣くとイライラし始め、時に弟を叩きに行こうとする。一人で遊ぶこと（絵本を見る）を好み、周りに子どもたちが寄ってくる逃げ出す。行動を抑制されると、かんしゃくをおこす。あまりにもきつい時はしくしくと泣き出す。ひどい時は１時間ぐらい泣いていることもある。  食事はこだわりがあり、白米を好んで食べる。野菜などのおかずを食べるように促すと、かんしゃくをおこす。 | | | | | | |
| **《相談内容》**   * 4月から幼稚園生になって集団生活ができるようになるのか不安 * 子どもにどうかかわったら良いのかわからない。育てていく自信がない。 * 父親にも理解してもらいたいが、どう話をしていけばいいのかわからない * 下の子にも手がかかり、本児の療育など受けられる場所にも通ってみたい。   ・　兄弟仲良く遊んでほしい | | | | | | |
| **《今後の地域連携図》**  相談支援専門員と信頼関係を深め、地域の関係機関に丁寧に繋いでいく。    相談員  児童発達支援  本人  家族  障がい福祉課  フファミサポ  保育園（弟預かり）  保健師  保育園  幼稚園 | | | | **《今後の対応》**   * 本児の利用できる福祉サービスの説明をし、サービス利用につなげていく * 児童発達支援（母子通所）の事業所の利用につなげ、両親が本児の特性を理解し、対応ができるように支援する（父親の育児参加を促す） * 同じ悩みを持つ親と交流できるようにする * 本児の療育に通う時には、弟を預けられるようにする | | |